



日本企業のポスト不足が深刻化している。企業の人事政策の課題はこれにどううまく対応するかである。しかしマクロ的には、ポスト不足は解消されない。一九九〇年代には中年者の失業が急増する恐れがある。実質成長率を高めるため企業年金制度を充実させる必要がある。

ハイテク化と高齢化が絡む

戦後四十一年間の日本経済を背景としてきた企業は二つの共通の課題を背負っている。第一の問題は事業展開の長期化である。この方向は二つの情報技術革命の流れに沿ってハイテク化である。高度情報社会という産業が乱入して、その事実同一企業に動

深刻化避けられぬ90年代の雇用問題

経済教室

高齢化とポスト不足

成長率引き上げと企業年金の充実を



一橋大学教授 津田 真澄

の背景には日本全体が二十世紀初頭に世界の最高齢国になろうという人口高齢化の長期方向がある。この二つの高齢化傾向が一致するは、日本の企業に長期雇用慣行が存するからである。

事業展開の長期化と定着の計画にすれば、巨大雇用規模の企業、すなわち日本の大企業では、半世紀以上にわたるハイテク化である。大企業では、半世紀以上にわたるハイテク化である。大企業では、半世紀以上にわたるハイテク化である。

ハイテク化と高齢化が絡む

戦後四十一年間の日本経済を背景としてきた企業は二つの共通の課題を背負っている。第一の問題は事業展開の長期化である。この方向は二つの情報技術革命の流れに沿ってハイテク化である。高度情報社会という産業が乱入して、その事実同一企業に動

ハイテク化と高齢化が絡む

戦後四十一年間の日本経済を背景としてきた企業は二つの共通の課題を背負っている。第一の問題は事業展開の長期化である。この方向は二つの情報技術革命の流れに沿ってハイテク化である。高度情報社会という産業が乱入して、その事実同一企業に動

も一つの深刻な問題は昇進・昇格の閉塞(いそ)状態である。定年退職者の急増の原動力は昇進・昇格の閉塞である。昇進・昇格の閉塞は、この可能性が見通せることから従業員が昇進・昇格を望む。昇進・昇格の閉塞は、この可能性が見通せることから従業員が昇進・昇格を望む。昇進・昇格の閉塞は、この可能性が見通せることから従業員が昇進・昇格を望む。

団塊一世・女子の大量参入も

企業で一生懸命に働いても昇進機会が少なく、ハイテク化、事業転換はどんどん加速してついでにはなくなる。しかし問題はそれだけではない。実は問題はそれだけではない。実は問題はそれだけではない。

企業で一生懸命に働いても昇進機会が少なく、ハイテク化、事業転換はどんどん加速してついでにはなくなる。しかし問題はそれだけではない。実は問題はそれだけではない。実は問題はそれだけではない。

団塊一世・女子の大量参入も

企業で一生懸命に働いても昇進機会が少なく、ハイテク化、事業転換はどんどん加速してついでにはなくなる。しかし問題はそれだけではない。実は問題はそれだけではない。実は問題はそれだけではない。

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足

高齢化とポスト不足